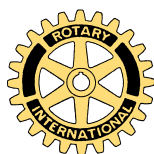


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2015～2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メー ル kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会 長 加 藤 真 治
幹 事 兵 藤 文 男
会報委員長 山 下 雅 則

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2903回例会プログラム

[当年度=13回目；当月=4週目]

2015年（平成27年）10月26日(月)

1. 例 会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……………〈会 長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 食 事

12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 幹事報告

9. 出席報告

※第1四半期皆出席の発表（出席委員会）

10. 委員会報告

11. ニコニコボックス報告

12. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(11/2) ……

新入会員アワー 近藤 純子 会員

” 石川 友美 会員

(11/9) ……

移動例会

環境保全クラブフォーラム及びロータリーデー

12:00～刈谷ハイウェイオアシス

2. クラブフォーラム……………〈米山記念奨学委員会〉

13:00 卓話 「米山奨学生になった私」

米山奨学生 ウプレティ・レサム 君

「ロータリー米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会

委員 加藤 英樹 様

(紹介者 出口 達也 会員)

13. 謝 辞

14. 点 鐘……………〈会 長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散 会

出 席

会員総数 96名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠 席 7名 出席率 91.95%
前々回(10/5)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 10月22日(木) 10月26日(月) かりがね小学校・日高小学校の学校訪問コンサートに行きまして。
- 2) 10月23日(金) 刈谷市国際交流協会の第2回役員・幹事会に参加して参りました。

幹 事 報 告

- 1) 本日、1時半より事務局にて理事会を開催します。関係の方は、お集り下さい。
- 2) 地区大会のご案内を地区大会出席者のみなさんにお渡ししました。1日(日)にお忘れないようにお願いします。名札については、伊藤直前幹事がキャスルにてお渡します。
- 3) 1日の地区大会ですが、特別快速10時23分の刈谷発で参ります。改札口に10分前集合でよろしくお願い致します。磯部親睦委員長がお待ちしています。

委 員 会 報 告

●環境保全小委員会

- 1) 環境保全小委員会の小澤です。11月9日は移動例会です。時間は12時～、場所は刈谷ハイウェイオアシスです。当日は10時50分に商工会議所からバスがでます。当日はよろしくお願い致します。

オオカミからイヌへ

加藤 真治



学生時代に動物行動学者のコンラート・ローレンツの「人イヌにあう」という本を読んで以来、オオカミからどのようにしてイヌが誕生したのか関心をもってきましたが、最近少し進展がありました。

ローレンツはイヌの祖先はオオカミではなくジャッカルだと考えていたようですが、その後の研究で定説はタイリクオオカミ（別名ハイイロオオカミ）が祖先と考えられてきました。しかし、現世のイヌとオオカミの全ゲノムを解析した結果、現在のイヌやタイリクオオカミは共に過去に絶滅した別種のオオカミを祖先とする姉妹関係にあることが今年の1月に明らかになりました。

ヒツジやウシ、ニワトリなどほとんどの家畜については、野生種が飼い慣らされた時期と場所や祖先がわかっているのにたいし、イヌに関してはいまだ明らかになっていません。それは、他の家畜の多くは祖先種の生息地が地理的に狭い範囲に絞られ、起源を追跡しやすかったのと対照的に、オオカミの分布域がばかばかしいほど広いのと、イヌとオオカミは頻繁に交雑を繰り返しているためです。

今、かつては競争関係にあった科学者達が大規模な研究チームを組み、世界中の博物館や大学などを訪ねてイヌ科動物の化石と骨のコレクションを調査し、また古代から現代に至るイヌとオオカミの遺伝子サンプルを準備して、これまでで最も包括的な比較研究が行われようとしています。この研究が完了すれば、オオカミが人類最良の友に至る道にいつどこで踏み出したのか、その答えに迫れるものと思われます。

クラブフォーラム

卓話 「米山奨学生になった私」

米山奨学生 ウプレティ・レサム 君



米山記念奨学生のウプレティ・レサム・バハダルです。本日は、このようなスピーチの機会をあたえて頂きありがとうございます。また、4月25日に発生しましたネパール地震の募金をして頂きまして、誠にありがとうございました。

はじめに、自己紹介をします。名前は、ウプレティ・レサム・バハダルです。生年月日は、1983年5月16日生まれの32歳です。国籍はネパールです。日本には、2011年4月に来ました。現在、名城大学学院 経営学研究科 修士課程にてファイナンス分野の研究をしています。住

まいは、名古屋市昭和区で、妻と2人で住んでいます。

次に、私の故郷ネパールの国を紹介します。面積は、14.7万平方キロメートル（北海道の1.8倍）で人口は2,649万人 首都はカトマンズ 言語はネパール語 宗教はヒンドゥー教徒が80%を超えています。産業は主に農業で81%の人が農業をえています。1人あたりのGDPは約717ドルであり開発途上国と言えます。

大学での、研究テーマはネパールにおける商業銀行の研究をしています。ネパールは、開発途上国の中でも特に開発が遅れているとされる後発の開発途上国の1つです。ネパールは、銀行口座を持たない人が多く、その結果、独自の金融取引が行われてきました。ネパールの経済発展のためには、同国における金融の発展が必要です。ネパールの金融機関の中でも、商業銀行の行動を分析することにより、銀行が果たすべき役割を明らかにしたいと考えています。

最後に、私の夢とこれからの進路についてですが、私の夢は、ネパールの商業銀行のマネージャー（Manager）になることです。そして、日本で勉強したことを生かして母国で活躍したいと思っています。日本にいる間は、大学院を卒業した後、博士課程へ進むことを考えています。もう1つは、機会があったら日本の銀行やその他の企業で、仕事をするとも考えています。なぜかという、今まで勉強をしたことと、今研究している銀行業についてなど日本でも生かすことができたいと思っています。

これからも、ロータリーの皆様には、お世話になりますがよろしくお願い致します。本日は、ありがとうございました。

卓話 「ロータリー米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会

委員 加藤 英樹 様



地区米山記念奨学委員会加藤英樹です。長年米山に関わっている方々が多い中で出向1年目の私がお話できることにはかなり無理があると思っておりますが、地区より頂いた資料を基に精いっぱい卓話者を務めてまいります。よろしくお願い致します。

ます。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリー独自の事業で、全地区による合同プロジェクトです。日本で学ぶ優秀な外国人留学生に奨学金を支給し、支援しています。最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。奨学生は世話クラブの例会に参加したり、奉仕活動を共にすることで、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学びます。世話クラブとなったロータリアンからも、「退屈だったロータリー観が変わった」、「何事にも一生懸命向き合う奨学生に心を打たれた。すばらしい出会いに感謝します」、といった声が寄せられています。ロータリーには、同じようなプログラムがありますが、この「よねやま」は、日本のロータリアンに

とって非常に特別な存在です。

ところで、われわれ日本のロータリーは、なぜ、外国人留学生を支援しつづけているのでしょうか？ 最近の私費留学生には、いわゆる「苦学生」のイメージではない学生もいます。これは、日本の入国管理局が、留学中の経費を支払えると判断した人にも留学を許可しているからなのですが、そうした彼らに奨学金が必要なのかと、疑問を持つ方がいらっしゃるでしょう。しかし現実には論文などの研究の時間をバイトに費やす結果となっています。

1962年、1人の日本人少女がオーストラリアへ留学しました。その留学を実現させたのは日本軍との戦いで両目を失ったオーストラリアのロータリアンでした。

日本のロータリーの父、米山梅吉翁が亡くなったあと、その功績を永遠に偲ぶことができる事業をやろうではないかと、1952年、東京 RC が「米山基金」の構想を発表しました。中心となったのは、当時の会長、「大連宣言」で有名な古沢文作氏でした。

なぜ、外国人留学生への奨学金という事業が選ばれたのか、いくつか理由がありますが、「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」、「世界の人々と友情を育むことができるのだと証明したい」。こうした、当時の日本のロータリアンたちの強い想いがありました。

東京 RC が始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

また、日本の心を伝えるという意味では世話クラブやカウンセラー制度が大変有効になっております。

また、米山の事業規模はこのような事業としては国内最大級の事業規模で、年間730名。累計規模でも18,648名の奨学生をお世話してきました。

よく中国籍の奨学生が多いとのこと指摘がありますが、このグラフのようにその比率は2014年度で40.7%となっております。

寄付はきちんと使われていますか？とのご質問もよくございます。

皆様の寄付はすべて奨学事業に使われておりますし、管理費等は利子でまかなっております。

当地区の実績等のグラフです。昨年度は1人あたりの平均寄付額は20,812円で7位でした。

特別寄付金20,812円の寄付者割合は28.2%と全国平均の41.2%と比べると少し低い状況です。

全国でも最大級の会員数を有する2760地区ですが、寄付をしてくださった方の割合が28%となっており、今後は是非より多くの方からご寄付を頂けるように努力をしていきたいと思っております。刈谷 RC は違いますが。

昨年度は13億4千万円と過去5年間で最高の寄付額でした。ご協力ありがとうございます。今後もご支援よろしくお願い致します。

寄付にはご覧のような税制優遇措置がございます。

当地区の目標額 1人当たり2万円です。あくまで僕は言われてるだけです。

これからは世界で活躍されている学友たちの紹介をしたいと思っております。

学友会は全世界で以下の国々にあります。台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴルです。ベトナムでも学友会設立の動きがあるそうです。

モンゴルのジャンチブさん。

中国学友会初代会長の姫軍さんです。

昨年度の豆辞典にも掲載されていたマーヒルさんです。

台湾学友会の日本人の台湾への留学生に対する奨学金の支援事業2760地区の活動としては各研修会を実施。WFFお手伝いなどをしております。

2760地区出身の学友が中心となりタイの学友会が設立されました。

インドネシアのパジャジャラン大学の日本語研究センター所長に就任されたスヘルマンさんです。

富士通総研経済研究所の首席研究員を務められているクローンさんも2760地区の学友です。

最後に、米山事業は世界に誇れる国際貢献事業です。その事業は皆様の寄付によって支えられております。今後も継続してご支援賜りますことをお願いして私の卓話を終了致します。ご清聴ありがとうございました。

第 5 回 理 事 会

I 会長挨拶 〈会 長〉

II 議 題

1. 11月・12月のプログラム（案）について

〈クラブ奉仕委員長〉

〈プログラム委員長〉

2. クリスマス家族会について

〈クラブ奉仕委員長〉

〈親睦活動委員長〉

3. 次年度指名委員について

〈幹 事〉

4. グローバル補助金事業—

第3350地区（タイ）にて「子宮頸がん予防事業」について

〈国際奉仕委員長〉

5. ロータリーデーについて

〈環境保全委員長〉

6. その他